

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 11 月 25 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200023		
法人名	広島良城会		
事業所名	グループホームさくら		
所在地	広島県広島市安佐南区大塚西3丁目11-14		
自己評価作成日	平成30年10月8日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200023-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年11月16日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・春のお花見行事：外出をし外部とのふれ合いや季節を感じることを目的としている。・昼食会：以前は一緒に行っていた食事作りも、行える方が低迷していることもあり現在は難しくなっている為、月に一度、各ユニットにて昼食会を実施し一人一人の出来ることに応じたサポートの元、食事作りに参加し普段とは違った（季節感のある）食事を楽しんで頂いている。・お楽しみポイント制度の実施：スタンプでのポイントを集め景品を選んで頂くことで日々の役割や体操などの参加に楽しみを見出せることを目的としている。・個別リハビリ：看護師が中心となり個別でのリハビリ項目を立て実施している。・毎月の行事に合わせ、お寿司やオードブル・お弁当等利用者様のリクエストに応じた食事の提供を行い毎月の楽しみとして頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>周囲を新興住宅地や緑に囲まれた環境に立地し、デイサービス、ショートステイ施設を併設している。近隣にはスーパーマーケットや幼稚園・保育園があるなど、生活する上で落ち着いた雰囲気であり、事業所の受付にはスタッフが常駐し、玄関には屋根付きのロータリーがあるなど外出しやすい。</p> <p>事業所内では、共に行う食事作りや外食、事業所内で使えるポイント制の導入などの取り組みや、月に2名ずつマンツーマン介助で外出する企画を行うなど、利用者に喜ばれる様々な取り組みを行っている。また、家族の希望を踏まえ、身体機能の維持向上のためリハビリに積極的に取り組むなどの活動が行われているほか、看護師が常駐し夜間もオンコール体制を敷くなど、健康面での配慮を行うことで介護職員も安心して働ける環境になっている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	その人らしさを大切にした笑顔溢れるグループホームを理念に掲げ、日々のコミュニケーションやレクリエーションを通し、笑顔になれる生活作りや楽しみを見出せるような環境作りを心がけている。	法人の理念の他に事業所の理念も掲げており、毎朝の朝礼で唱和しているほか、職員の詰所にも掲示をしている。事業所の理念を意識することで、その人らしさを大切にした笑顔あふれるグループホームになるよう、様々な企画を作ることを職員が発案することにつながっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	年に一度、他施設との合同風船バレーボール大会に参加している。幼稚園からの慰問を受け園児とのふれ合い・交流の場としている。H30年度より月に一度、地域の集会所で実施するサロンへの参加を行っている。	近所の幼稚園との交流では、幼稚園児からのお花を利用者が喜んで受け取る光景があったり、地域のボランティアの受け入れ、近隣事業所との合同運動会の実施などの取り組みを行っている。また、民生委員の協力により、地域のふれあいサロンへの参加など、日頃から事業所が地域の一員として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	外部の方の見学を受け入れ、認知症の方に対する理解を深めて頂ける様、事業所内における取り組みや、特色の説明を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を2か月に一回開催している。出席された方より頂く事業所への助言、要望等は、現場のケアに反映させるよう努力している。	運営推進会議では、参加した薬剤師からのアドバイスによって、配薬の漏れが事前に防げたりする効果につながっている。また、消防署職員の参加では、装置や消火に関するアドバイスを受け、訓練の方法を改善するなど、会議での意見をサービス向上につなげている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	実績を伝えている他、市町の職員を運営推進会議の参加を呼び掛けている。	市とは、地域包括支援センターの行事や地域連携会議等を通じて協力しあう関係であり、ボランティアの受け入れ等で情報提供を受けるなど、日頃から事業所の取り組みを伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>現在、身体拘束は行っていない。やむを得ず身体拘束が必要とされる場合は、職員ミーティングにて、必要の是非の検討、ご家族の同意、経過の記録を残すよう徹底している。また、H30年4月に身体拘束委員会を設置し毎月の委員会報告を行い定期的な研修に取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束予防のための研修を年2回実施しており、身体拘束廃止委員会は毎月実施し職員の意識啓発に取り組んでいる。また、身体拘束予防のために指針を提示し、定期的な研修を行っている。その結果、身体拘束は行われていない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>H30年4月に虐待防止委員会を設置し毎月の委員会報告を実施。また、研修の実施。今後も年に1・2度の研修開催を予定している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>今年度は権利擁護に関する研修参加等の研修をまだ行っていない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入退居時、契約書及び重要事項の内容説明を利用者と家族に行い、同意を得ている。他、加算に関する説明、支援内容についての御希望等を十分に伺い不安なくご入居頂けるよう心掛けている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>相談や苦情を受け入れる窓口を設けており、その内容を詳細に所定の用紙に記載し、全職員に周知を図っている。ご意見を頂き易いように「ご要望をお聞かせ下さい」と記載し、ご家族及び外部の方からの要望を伺っている。また、苦情やご相談の際には十分な話し合いを設け改善に努めている。</p>	<p>家族の面会時、管理者が聞き取りを行ったり、最近の状況の報告や相談を行っているほか、体調面については看護師を交えて話し合っている。その他、様々な相談ごとについて、積極的に聴き取りや情報収集を行い、運営に反映する機会を設けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々のケアを通じた気づきや、業務内容の改善など、利用者様のよりよいケアに向けた提案を受け入れ、又アドバイスや提案を行っている。毎月の委員会会議の際に意見交換等を行っている。</p>	<p>職員からは日頃の気づき等について意見交換を行っているほか、利用者同士のいざこざ等、ちょっとした対応方法の相談にも応じ、アドバイスをを行っている。また、働きやすいシフトにも配慮を行うなど、運営に関する職員意見の反映を行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年に2回、職員個々の目標とそれに基づく自己評価を確認し、努力した点や成果を認め、新たな課題に繋げて行く取り組みを行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人外の研修への参加機会を設けていかなければならないと考えている。また、日々の業務の中で職員一人一人の力量に応じた育成に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>外部の運営推進会議や行事等へ参加している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人、ご家族様のご意見を事前に伺いサービスに生かせるよう努めている。安心した生活の確保ができるよう事前に各職員へ情報提供や支援シートを作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご入居前、ご入居後に報告・連絡を密に取り合い関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>当施設の入所要件に合い、且つ利用者及び家族の入所における希望を吟味した上でサービスの提供にあたっている。また、状態や状況の変化に応じたサービスの提供を実施している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>個々の能力に応じ、生活支援にあたっている。本人の生活習慣を尊重し、寄り添うケアに心掛けている。また、ご利用者様同士の関係性に配慮できる様支援にあたっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者の生活の様子について、変化が見られた際にはもちろん、定期的な報告を行い今後の支援につなげている。また、本人の生活歴や特徴など、家族の方から伺い、本人の暮らしを支えて行く上での協力を頂いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>利用者が施設に入所される前に繋がりがあった方や、家の近隣の方からの面会をして頂いている。また、地域の方を招き、施設内行事として導入したり、地域行事の参加を通して、馴染みの方との交流の場としている。</p>	<p>利用者が入居前に交流のあった方に手紙を出すのを手伝ったり、年賀状作りの手伝いや、絵葉書作りなど、馴染みの関係のつながりが続くように支援している。また、知人の来訪もある方もおり、それまでの人間関係構築のための支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションや行事を用いて様々な利用者同士が関われる様配慮し、孤立しがちな入居者が交われる機会を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所され、他の施設に入所された方に対しても面会に伺うなどの関わりを持っている。また、退所の際にはご家族様との話し合いを何度も行い希望に応じたケアができるよう移動先確保の支援や対応に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの暮らし方の意向を伺い、園内散歩・塗り絵やレクリエーションを行っている。また、その方の能力に応じた家事への取り組みや、個別でのリハビリ項目を立て実施している。	入居時や、ケアプラン作成時に家族に確認し、本人の思いや意向の把握に努めている。食べ物のこだわりや、布団のかけ方等に至るまで配慮を行っている。また、塗り絵や体操など本人の意向に合わせた対応や、外出の希望がある場合は、おにぎりや弁当を持って外に出るなど、柔軟な対応を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者及び、ご家族の話を傾聴し、個々の馴染みのある生活環境の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の観察、記録により、現状や変化の観察に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人のニーズを把握する為、本人、家族の思いを伺っている。生活上の問題点や気づきを各居室担当毎のスタッフに伺い、随時新たな取り組みを計画に加え、生活の中に反映させている。</p>	<p>担当職員に聞き取りを行いながら計画を作成し、モニタリングでは職員の意見を反映している。ケアマネジャーが中心となり、本人の思いや意向を踏まえ、生活上の問題点や気づきも反映した計画づくりを行い、現状に即した介護計画の作成につながっている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>生活日誌と個人記録を毎日記録し、情報を共有しながらモニタリングしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>グループホーム入所の前に、デイサービスや、ショートステイを利用して頂く事で施設の雰囲気に慣れて頂く等の対応を取っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>個別のマッサージや往診、利用者を取り巻く家族や友人、団体との関わりを大切にしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者全員が協力病院を主治医とし、診療を受けている。また週1回の訪問診療と24時間体制で連絡対応している。</p> <p>利用者の健康状態に関し、看護師から主治医への連携を密に図っている。</p> <p>他の医療機関受診時、主治医からの紹介状を以って、円滑に受診できる様支援している。</p>	<p>協力医の訪問診療のほか、年2回の健康診断、CT検査等も行い、健康面に配慮を行っている。また、24時間体制で看護職員と連絡が取れるほか、日中は看護師が常駐しているため、利用者は適切な医療を受けられるよう配慮がなされている。また、職員や看護師が受診時の同行を行い、医師に直接状況を伝えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>介護職員は、常勤看護師と利用者の方の健康状況について、情報の共有化を図り、適切な対処を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院関係者との情報交換や相談を行い、家族とも密に連絡を取っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期など、医療管理が常時必要となった際の指針を、協力病院と話し合って決め、契約の段階で家族に説明している。</p>	<p>契約時に家族に説明を行っているほか、実際に重度化した場合には家族と随時話し合いながら対応方法を検討している。母体法人の特別養護老人ホームと連携したり、病院などとの連携も行っている。原則看取りは行っていないが、地域の医療関係者と連携を取りながら、利用者や家族に適切な方向性を示している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時の対処方法や連絡体制をマニュアル化し、有事の際に動ける様、文書化して掲示しており、利用者の急変や事故発生時に対応している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>大塚・伴南小学校区自主防災会への応援協力の要請・職員の緊急時体制を取り緊急時に備えている。また、施設内部にて定期的な消防訓練（日中・夜間想定）を行っている。安佐南消防署の方々に運営推進会議への参加を求め防災についての指導を受けている。</p>	<p>火災や地震など、事業所の警報装置が作動するとすぐに消防車が駆け付ける仕組みが取り入れられている。また、地域や職員の連絡網もつながり、母体法人の特別養護老人ホームでは食料や備品の備蓄もある。また、避難訓練では近隣の施設とも連携をとることで防災意識を高めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は言葉遣い、敬語に留意し、会話をする際の視線の位置に配慮している。入浴は一對一で対応し、排泄等のプライバシー空間は、外から視界に入らない様配慮している。	一人ひとりの人格を尊重し、言葉遣いや敬語に注意を払っているほか、排泄時の職員間の伝達の際にも声が大きくなりすぎないように注意している。また、利用者が使用するパットの箱にも覆いをするなど、誇りや尊厳を損なわない対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	各利用者様が自己決定しやすいよう日常的の機会を増やしたり、耳を傾けるよう心掛けている。自己決定が困難な方に対しては表情や行動などに目を向ける等、自己決定を行いやすい様に働きかけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や入浴時間についての決定時間はあるがその時々々の状態や状況に合わせての変更は行っている。なるべく個々のペースに合わせた支援に心がけ、取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の希望により化粧品を購入したり、毎月、移動理美容車が来て各々希望のメニューを選ばれている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様の嚥下状態に合わせて普通食から一口大・粗刻み・極刻み・ソフト食・ゼリー食の提供を行い誤嚥等の症状に注意を払っている。お盆や食器を拭く片づけなど、役割りとして利用者様に担って頂いている。毎月 昼食会を行い食事作りに取り組んでいる。月に1・2度お弁当やお寿司などを注文し普段とは違ったものを提供し喜んでいただけている。	利用者の状態に合わせて、ゼリー食やソフト食など、食事の形態を変更することができる。また、食事作りを楽しむために、時々配達 of 食事をとめて事業所内で食事作りを行ったり、弁当やお寿司を注文し普段と違うものを提供している。また、食事摂取時の姿勢にも配慮し、食べやすいクッション等を使用し姿勢保持にも気を配っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食の摂取量を記入し把握している。水分摂取量の観察が必要な利用者様においては、水分量を記入し把握している。摂取量が低下している方に対しては、エンシュアや高カロリー食を摂って頂く等、栄養バランスの確保に努めている。水分摂取量確保の為に一日/2度のジュースの提供を増やしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケア及び義歯洗浄を行っている。義歯の方は毎日ポリドントを使用し、口腔内の清潔を保っている。歯科往診との業務委託を行い希望者は週に一度のケアをしていただいている。定期的な歯ブラシ交換を行い清潔に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレ内排泄を基本とし、食前、食後のトイレ誘導を行い、尿意・便意の維持に心がけている。夜間は希望者のみポータブルトイレの設置を行い自力排泄の支援を行っている。また、個々の状態に応じたパンツやパッドを選び排泄の失敗を減らしている。</p>	<p>日中はトイレでの排泄を行っており、利用者の状態に合わせ、安全のために夜間だけポータブルトイレを使用することを心がけている。オムツを使用する利用者はいるものの、定時交換のほか、コールによって随時交換を行ったり、褥瘡予防のためにパットの工夫をするなど、排泄の自立のための支援に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日の排便日を把握し常に看護師との連携を図り対応している。スムーズな排便を促す為の運動を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一週間に2回入浴日を定めている。その他、利用者の情緒や健康状態に応じ、入浴順や、入浴日をずらす対応を取っている。ゆっくり入浴して頂けるよう1対1での介助を行い、お一人様30分の時間を設けている。</p>	<p>利用者は原則週2回、午前中に入浴を行うが、希望があれば午後にも入浴する。また、入浴に対し恥ずかしいと感じる利用者にはうまく誘導してタオルで恥ずかしくないよう配慮するなど、介助の工夫を行っている。また、必要に応じて入眠前に清拭するなど、利用者個別の状況に合わせ対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>就寝時間は、個々の生活習慣に沿う形で対応している。利用者の心身の状況に応じ、日中も休息時間を取って頂いている。</p> <p>夜間は安眠できる様 個々に応じたパッドの見直しを行った。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の目的や副作用については、看護師管理の元、指示を受け対応している。また、確実な服薬を行う為、薬袋に記載されている日付け、名前、用法を複数の職員が確認した後、服薬支援を行う等の3重チェックを取り入れた。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々の生活歴や、本人の希望に沿い、生活の中での役割りを担って頂いている。何もしない状態が長くならない様、レクリエーションの内容を工夫して取り組んでいる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>年間行事の中に外出行事を取り入れ季節を感じて頂けるよう工夫をしている。地域とのふれ合いが持てるよう毎月サロンへの参加をしている。また、ご家族様へ外泊や外出の協力を得て出かける機会が増やせるよう努めている。</p>	<p>近所のふれあいサロンに毎月参加しているほか、月2名と決めて、マンツーマン介護で外出を行っている。また、ショッピングセンターや動物園など、事業所の車を使ってできるだけ外出する機会を多く取り入れている。また、事業所の出入り口が屋根付きのロータリーとなっており、外出時車の乗降がしやすい。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>預かり金は同意を得て事務所内で保管しているがご本人様へは随時その旨を説明し購入物等の料金説明も行っている。面会時の預かり金については一緒に金庫へ預ける等の支援を行い、外出の際にはお金を所持して頂きご自分で支払って頂くよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご本人様の希望に応じ、職員同行にて電話をかけて頂いている。また、ご家族様からの要請時にも電話にてお話をさせて頂いている。ご本人様の要望に応じお手紙のやりとりのサポートを行っている。その他の方についても、字を書くことを継続して頂けるようご家族様へ宛て、お手紙や葉書などを書いて頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室ドアに防音テープを施したり、共用スペースに、季節をテーマにした手作りカレンダーや塗り絵等の作品を飾っている。遮光カーテンで、日当たり加減の調整を行っている。笑顔になれる空間作りを目指し毎月の行事や皆様の笑顔の写真を貼り話題作りに繋がっている。</p>	<p>共有空間は採光もよく、外気を導入し風通しも良い。日差しが強すぎる場合にはロールカーテンを使用し、部屋が狭く感じないような配慮を行っている。また、外出行事や食事作りなどの行事の写真を壁に貼り、様々な話題作りを行っているなど、穏やかで楽しい雰囲気づくりを工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共用空間の配席は、利用者間の人間関係を考慮しており、利用者同士で会話を楽しまれている。一人で過ごしたい時や休息したい時等は居室を使用させて頂き苦痛にならない様工夫をしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室は、使い慣れた家具や生活用品装飾品等、利用者様にとって馴染みのある品の持ち込みをお願いしている。又、ベッドの位置や生活用品の設置場所が障害にならない様、利用者及び家族と相談の上、安全に配慮し安心して暮らして頂ける様工夫している。</p>	<p>毎朝居室の換気を行っているほか、加湿器を設置し部屋が乾燥しすぎないように注意をしている。また、各部屋に洗面所が設置され、清潔な環境維持に役立っているほか、ベッドが苦手な利用者には、個別にマットを敷いて床面で寝られるように配慮するなど、本人が居心地よく生活できるような工夫がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>居室を認識して頂くための目印や、トイレの貼り紙を入口に貼る等、混乱を防ぐための取り組みに努めている。建物内の生活環境は段差が解消されている。廊下やトイレ内等、随所に手すりがあり、活用されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	その人らしさを大切に笑顔溢れるグループホームを理念に掲げ、日々のコミュニケーションやレクリエーションを通し、笑顔になれる生活作りや楽しみを見出せるような環境作りを心がけている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	年に一度、他施設との合同風船バレーボール大会に参加している。幼稚園からの慰問を受け園児とのふれ合い・交流の場としている。H30年度より月に一度、地域の集会所で実施するサロンへの参加を行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	外部の方の見学を受け入れ、認知症の方に対する理解を深めて頂ける様、事業所内における取り組みや、特色の説明を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を2か月に一回開催している。出席された方より頂く事業所への助言、要望等は、現場のケアに反映させるよう努力している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	実績を伝えている他、市町の職員を運営推進会議の参加を呼び掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>現在、身体拘束は行っていない。やむを得ず身体拘束が必要とされる場合は、職員ミーティングにて、必要の是非の検討、ご家族の同意、経過の記録を残すよう徹底している。また、H30年4月に身体拘束委員会を設置し毎月の委員会報告を行い定期的な研修に取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>H30年4月に虐待防止委員会を設置し毎月の委員会報告を実施。また、研修の実施。今後も年に1・2度の研修開催を予定している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>今年度は権利擁護に関する研修参加等の研修をまだ行っていない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入退居時、契約書及び重要事項の内容説明を利用者と家族に行い、同意を得ている。他、加算に関する説明、支援内容についての御希望等を十分に伺い不安なくご入居頂けるよう心掛けている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>相談や苦情を受け入れる窓口を設けており、その内容を詳細に所定の用紙に記載し、全職員に周知を図っている。ご意見を頂き易いように「ご要望をお聞かせ下さい」と記載し、ご家族及び外部の方からの要望を伺っている。また、苦情やご相談の際には十分な話し合いを設け改善に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々のケアを通じた気づきや、業務内容の改善など、利用者様のよりよいケアに向けた提案を受け入れ、又アドバイスや提案を行っている。毎月の委員会会議の際に意見交換等を行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に2回、職員個々の目標とそれに基づく自己評価を確認し、努力した点や成果を認め、新たな課題に繋げて行く取り組みを行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人外の研修への参加機会を設けていかなければならないと考えている。また、日々の業務の中で職員一人一人の力量に応じた育成に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	外部の運営推進会議への参加や行事への参加に参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人、ご家族様のご意見を事前に伺いサービスに生かせるよう努めている。安心した生活の確保ができるよう事前に各職員へ情報提供や支援シートを作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご入居前、ご入居後に報告・連絡を取り合い関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>当施設の入所要件に合い、且つ利用者及び家族の入所における希望を吟味した上でサービスの提供にあたっている。また、状態や状況の変化に応じたサービスの提供を実施している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>個々の能力に応じ、生活支援にあたっている。本人の生活習慣を尊重し、寄り添うケアに心掛けている。また、ご利用者様同士の関係性に配慮できる様支援にあたっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者の生活の様子について、変化が見られた際にはもちろん、定期的な報告を行い今後の支援につなげている。また、本人の生活歴や特徴など、家族の方から伺い、本人の暮らしを支えて行く上での協力を頂いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>利用者が施設に入所される前に繋がりがあった方や、家の近隣の方からの面会をして頂いている。また、地域の方を招き、施設内行事として導入したり、地域行事の参加を通して、馴染みの方との交流の場としている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションや行事を用いて様々な利用者同士が関われる様配慮し、孤立しがちな入居者が交われる機会を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所され、他の施設に入所された方に対しても面会に伺うなどの関わりを持っている。また、退所の際にはご家族様との話し合いを何度も行いより応じたケアができるよう移動先確保の支援や対応に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの暮らし方の意向を伺い、園内散歩・塗り絵やレクリエーションを行っている。また、その方の能力に応じた家事への取り組みや、個別でのリハビリ項目を立て実施している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者及び、ご家族の話を傾聴し、個々の馴染みのある生活環境の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の観察、記録により、現状や変化の観察に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人のニーズを把握する為、本人、家族の思いを伺っている。生活上の問題点や気付きを各居室担当毎のスタッフに伺い、随時新たな取り組みを計画に加え、生活の中に反映させている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>生活日誌と個人記録を毎日記録し、情報を共有しながらモニタリングしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>グループホーム入所の前に、デイサービスや、ショートステイを利用して頂く事で施設の雰囲気慣れて頂く等の対応を取っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>個別のマッサージや往診、利用者を取り巻く家族や友人、団体との関わりを大切にしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者全員が協力病院を主治医とし、診療を受けている。また週1回の訪問診療と24時間体制で連絡対応している。 ・利用者の健康状態に関し、看護師から主治医への連携を密に図っている。 ・他の医療機関受診時、主治医からの紹介状を以って、円滑に受診できる様支援している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>介護職員は、常勤看護師と利用者の方の健康状況について、情報の共有化を図り、適切な対処を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院関係者との情報交換や相談を行い、家族とも密に連絡を取っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期など、医療管理が常時必要となった際の指針を、協力病院と話し合って決め、契約の段階で家族に説明している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時の対処方法や連絡体制をマニュアル化し、有事の際に動ける様、文書化して掲示しており、利用者の急変や事故発生時に対応している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>大塚・伴南小学校区自主防災会への応援協力の要請・職員の緊急時体制を取り緊急時に備えている。また、施設内部にて定期的な消防訓練（日中・夜間想定）を行っている。 消防局の方々に運営推進会議への参加を求め防災についての指導を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は言葉遣い、敬語に留意し、会話をしている際の視線の位置に配慮している。入浴は一對一で対応し、排泄等のプライバシー空間は、外から視界に入らない様配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	各利用者様が自己決定しやすいよう日常的の機会を増やしたり、耳を傾けるよう心掛けています。自己決定が困難な方に対しては表情や行動などに目を向ける等、自己決定を行いやすい様に働きかけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や入浴時間についての決定時間はあるがその時々々の状態や状況に合わせての変更は行っている。なるべく個々のペースに合わせた支援に心がけ、取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の希望により化粧品を購入したり、毎月、移動理美容車が来て各々希望のメニューを選ばれている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の嚥下状態に合わせて普通食から一口大・粗刻み・極刻み・ソフト食・ゼリー食の提供を行い誤嚥等の症状に注意を払っている。 ・お盆や食器を拭く片づけなど、役割りとして利用者様に担って頂いている。 ・毎月 昼食会を行い食事作りに取り組んでいる。 ・月に1・2度お弁当やお寿司などを注文し普段とは違ったものを提供し喜んでいただけている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>・毎食の摂取量を記入し把握している。 水分摂取量の観察が必要な利用者様においては、水分量を記入し把握している。 摂取量が低下している方に対しては、エンシュアや高カロリー食を摂って頂く等、栄養バランスの確保に努めている。 ・水分摂取量確保の為に一日/2度のジュースの提供を増やしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケア及び義歯洗浄を行っている。義歯の方は毎日ボリデントを使用し、口腔内の清潔を保っている。歯科往診との業務委託を行い希望者は週に一度のケアをしていただいている。定期的な歯ブラシ交換を行い清潔に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレ内排泄を基本とし、食前、食後のトイレ誘導を行い、尿意・便意の維持に心がけている。夜間は希望者のみポータブルトイレの設置を行い自力排泄の支援を行っている。また、個々の状態に応じたパンツやパッドを選び排泄の失敗を減らしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日の排便日を把握し常に看護師との連携を図り対応している。スムーズな排便を促す為の運動を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一週間に2回の入浴日を定めている。その他、利用者の情緒や健康状態に応じ、入浴順や、入浴日をずらす対応を取っている ゆっくり入浴して頂けるよう1対1での介助を行い お一人様30分の時間を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>就寝時間は、個々の生活習慣に沿う形で対応している。利用者の心身の状況に応じ、日中も休息時間を取って頂いている。</p> <p>夜間は安眠できる様 個々に応じたパッドの見直しを行った。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の目的や副作用については、看護師管理の元 指示を受け対応している。また、確実な服薬を行う為、薬袋に記載されている日付け、名前、用法を複数の職員が確認した後、服薬支援を行う等の3重チェックを取り入れた。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々の生活歴や、本人の希望に沿い、生活の中での役割りを担って頂いている。何もしない状態が長くない様、レクリエーションの内容を工夫して取り組んでいる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>年間行事の中に外出行事を取り入れ季節を感じて頂けるよう工夫をしている。地域とのふれ合いが持てるよう毎月サロンへの参加をしている。また、ご家族様へ外泊や外出の協力を得て出かける機会が増やせるよう努めている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>預かり金は同意を得て事務所内で保管しているがご本人様へは随時その旨を説明し購入物等の 料金説明も行っている。面会時の預かり金についてはご一緒に金庫へ預ける等の支援を行い、外出の際にはお金を所持して頂きご自分で支払って頂くよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様の希望に応じ、職員同行にて電話をかけて頂いている。また、ご家族様からの要請時にも電話にてお話を射て頂いている。 ご本人様の要望に応じお手紙のやりとりのサポートを行っている。その他の方についても、字を書くことを継続して頂けるようご家族様へ宛て、お手紙や葉書などを書いて頂いている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室ドアに防音テープを施したり、共用スペースに、季節をテーマにした手作りカレンダーや塗り絵等の作品を飾っている。遮光カーテンで、日当たり加減の調整を行っている。 笑顔になれる空間作りを目指し毎月の行事や皆様の笑顔の写真を貼り話題作りに繋がっている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用空間の配席は、利用者間の人間関係を考慮しており、利用者同士で会話を楽しまれている。一人で過ごしたい時や休息したい時等は居室を使用して頂き苦痛にならない様工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室は、使い慣れた家具や生活用品装飾品等、利用者様にとって馴染みのある品の持ち込みをお願いしている。 又、ベッドの位置や生活用品の設置場所が障害にならない様、利用者及び家族と相談の上、安全に配慮し安心して暮らして頂ける様工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室を認識して頂くための目印や、トイレの貼り紙を入口に貼る等、混乱を防ぐための取り組みに努めている。建物内の生活環境は段差が解消されている。廊下やトイレ内等、随所に手すりがあり、活用されている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームさくら

作成日 平成30年12月6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	研修の機会を増やし、また外部研修や学んだ事を生かし実践に向け職員のスキル向上に努めていく必要がある	マナーの研修や介護研修を行い職員レベルの向上・サービスの統一を図る	H30年11月 ポジショニング研修実施済 H31年1月 接遇研修 H31年3月 介護研修の実施予定	3カ月 ～ 6カ月
2	28	個々のニーズに応じ、これまで以上の多機能化と柔軟なサービスを増やして行く	リハビリ内容を生かせるよう看護師と連携を図り機能維持や認知症の進行を防いで行く	個別リハビリを浸透させていく。レクリエーションへの取り組みを増やす。 H30年11月～実施の外出行事の継続。	6カ月 ～ 12カ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。